

PHR 協会 IHMS 委員会議事録(案)

日時:2020年4月15日(水)15時~17時 場所:Web会議のみ

出席者:web会議 前田、細羽、大林、藤井田、窪田(コニカ)、村山、織田、鈴木淳夫
森口(記)(順不同・敬称略)

主な議事:1. PHR協会事務局変更・ホームページ対応等の報告
2. PHRサービス事業者アンケート(案)について(続)
3. 前田から自身のPHRに関する考え方の説明があった。

医療と健康管理尾を結ぶ

1. 議事内容(司会 鈴木淳夫)

今回初めて、完全なWeb会議で実施。

- (1) 前回議事録をベースに議事を進行
- (2) 最近にない大勢の参加で活発な会議となった。

(PHR協会事務局より)

- ・事務局が産業医大大神教室に変更、スムーズに事務手続きの移行が進んでいる。
 - ・ホームページが最新の状態に更新された。www.phrj.org
- 引き続き、新しい記事を搭載してゆく

(議事)

森口より報告

- ・今期の活動の5月14日の旭川での産業衛生学会は、コロナウイルスのため自由集会は中止となった。
- ①大神先生の配慮により、同様の行事を11月~12月に東京で行うこととなった。
- ②森口が個人で提出した口演については、対応未定

注 ⇒ 15日夜、産業衛生学会から対応が「下記に決定」の連絡あり

演題名: PHRサービス事業者の基盤環境整備への提案

上記演題について:「1) Web発表+誌上発表」とする。

織田より報告

- ・医療職向け中心の委員会を織田を中心に新規に立ち上げる
 - 地域医療・産業保健へのPHRの貢献について検討を進める。
- 正式の趣意書を作成中
- 例:茨城県西部医療センターの梶井先生の地域医療への事例を検討中。
- 窪田より解説(四月14日にIHMS委員会のメーリングリストで報告済み)
- ・PHRの運営コストを誰が負担するか?

マイクロソフトの事例

大手プラットフォーマーと医療機関や保険会社(HUMANA)提携
Appleと退役軍人の事例
AppleとGoogleが新型コロナ対策アプリ共同開発

前田より自身の発表を開設

山梨大学・山梨県医師会のデーター括管理事例

全世代型の地域包括システムの考え方説明

健診センターを含めた地域包括ケアの提案説明

街ごと総合病院(施設)の提案説明

PHR は、治療のための医療情報のみではなく、未病の状態を参照できるように、健診・健康管理情報の収集・参照が必須。

(2) アンケートのための検討内容:

参考資料:

- (1)産業保健関連PHRに関するアンケート(Word)
- (2)産業保健関連PHRに関するアンケート(EXCEL)
- (3)産業保健関連PHRに関するアンケート(PowerPoint)

a. 森口が「産業保健関連のPHRに関するアンケートのお願い」のWORD／EXCEL・PowerPointのセットを説明

今後、産業保健以外のアンケートも検討要

次回:5月13日(水)15時～17時 場所は次回もコロナウイルスのためにWeb会議か?

—以上—